

(個人用)

行政視察等報告書（個人用）

令和7年4月25日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子
日 時	令和7年4月18日
視察（研修）場所	長久手市役所
目 的	発達性ディスレクシアについて
<p>【概 要】</p> <p>《 長久手市発達性ディスレクシア研修（長久手市現職教育） 》</p> <p>◎目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 専門的な教員の育成</li><li>・ 発達性ディスレクシア</li><li>・ 専門的な教育に関わることにより、児童に適した練習方法で読み書きの習得へとつなげる</li><li>・ 検査の実施により、客観的判断を行い、根拠に基づいた支援を行なう</li><li>・ 発達性ディスレクシアについて教育の理解を深め、指導力を高める</li><li>・ 市内全体での体制づくりを構築し、特別支援教育を推進する</li></ul> <p>◎研修計画（令和6年度～令和8年度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 年間4回 研修実施 （市内小中学校より各1名程度参加）</li><li>・ 検査やトレーニング法の理解と取得</li></ul>	

## ◎研修の詳細

### 演習①〈集団検査の実施〉

- ・対象：小学1年生及び中学1年生
  - 気になる児童生徒の保護者へ声かけ
  - 家庭でのトレーニングのお願い

### 演習②〈個別検査の実施〉

- ・対象：全学年
  - レイブン色彩マトリックス検査
  - RAN
  - 102 モーラ表記文字の音読と書取
  - 速読検査
  - 視覚認知検査
  - 音韻検査
  - 語彙力検査

### 演習③〈聴覚トレーニング〉

\*個別検査の結果から通常の練習効果がえられないであろう児童生徒→聴覚法での習得が適している児童生徒に実施

- (1) ひらがなカタカナ 50 音表
  - ・音声言語のみで覚える
  - ・音で覚えたら、漢字練習へ
- (2) ひらがなカタカナ情景画
- (3) 漢字書字
  - ・漢字の構成要素を音声言語化

## ◎成果

- ・専門的な教員の育成
- ・児童に適した練習方法で読み書きの習得ができる
- ・客観的に判断を行い、根拠に基づいた支援や配慮ができる

## ◎今後の予定

- ・3年間の研修実施により、専門教員を27名程度養成
- ・研修を受けた専門教員を中心に、校内で発達性ディスレクシアの早期発見、早期対応を実施

- ・市内統一の流れ構築



- ① 小学1年生及び中学1年生に集団検査実施
- ② 該当児童生徒に個別検査の実施
- ③ 聴覚法優位な児童生徒に聴覚法のトレーニング実施  
必要な配慮を実施

### ◎課題

- ・検査の実施に時間がかかる →授業の合間の時間がとりにくい
- ・集団検査後、保護者の理解が得られない場合がある
- ・中学生は、自身の特性受容が難しい  
→ひらがな習得につながらない
- ・市内体制の維持

### 【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

#### 【所感】

今回の長久手市における発達性ディスレクシア研修は、専門的で体系的な支援体制の整備と、児童生徒一人ひとりに寄り添った指導方法の重要性を改めて認識する機会となりました。

特に、早期発見・早期支援のための検査と結果に基づく個別トレーニングの流れが市内全域で統一されている点は、知立市における取組の参考になると感じました。

また研修を通じて、教員の専門性向上が直接的に児童生徒の学習意欲や自己肯定感の向上につながることを実感しました。

現在、知立市ではまだ本格的な取組はありませんが、子どもたち一人ひとりの学びを守るためにも、検査体制や先生方の専門性を高める研修など、できるだけ早い段階で導入を検討していただきたいと思います。

#### 【反映に向けた課題】

- ・専門的な検査や支援を行える体制づくり
- ・保護者への丁寧な説明とご理解・ご協力をお願い
- ・発見から支援開始までの市内共通の流れづくり